

# 町会だより

## 姉崎の歴史とこれからのまちづくり

### 市原市町会長連合会

会長 桃尾 英宣

姉崎地区は、市原市最西部に位置する中心地域である。

景行天皇40年（110年）に姉崎神社を創建し、4世紀後半から7世紀後半にかけて字内の至る所に古墳が造られ、姉崎古墳群として調査が進められる中、多くの史跡の存在が確認された。

かつては海苔の養殖や潮干狩りが盛んで、海水浴などが楽しめるような穏やかな海を臨み、避暑地として東京周辺から観光客が訪れる場所であった。今でも「別荘下」というバス停があります。しかし暮らしが一変したのは、海の埋

め立て、漁業権の放棄です。

現在は、新たに埋め立てられた姉崎海岸において、大規模な石油化学コンビナートが形成されており、日本有数の工業都市の一角を成している。工業製品出荷高は全国二位を川崎市と競っています（一位は豊田市）。そのため、漁業や観光業が栄えていた面影はほとんど残っていません。



駅周辺が元気がない中で、明るいニュースとして、企業からの寄付もあり、市の協力で姉ヶ崎駅のトイレが改修されました。随分ときれいになったことを

ご存じですか。皆さんも一度体験して下さい。

令和5年5月1日市原市は市政施行60周年を迎えました。市原市では、令和2年度から「いちほらリノベーションまちづくり実行委員会（市、商工会議所、町会長連合会）」が中心となり、JR五井駅周辺を舞台に、空き店舗、公共空間等の活用やまちづくりプレーヤーの人材発掘・育成を目的に、リノベーションまちづくりに取り組んできましたが、令和5年度からは、JR姉ヶ崎駅周辺を舞台としてスタートしました。

この事業は、新たな地域コミュニティの醸成にも期待できるものであります。

「空き店舗や公共空間等の活用により、周辺一帯の価値を高め、若者、女性が集う魅力あるまちいちほらの創出」を目指して、市は事業を進めています。

2019年の災害、コロナ禍の沈滞したムードを払いのけ、活力あるまちづくりを考えていきたいと思っています。

（一部資料を石黒修一氏から提供いただきました。）

## 「サークル探訪」

なんちゃってネーネーズです。

沖縄宮古島出身の久保山和代、離島の座間味島出身の大野治枝、五井在住で沖縄大好きな田中久美子のなんちゃっての3人組です。

グループ名の由来は、沖縄では幾つになっても女の人には、「ネーネー」といいます。又地元で有名な民謡グループ「ネーネーズ」にあやかり、あたまになんちゃってをつけました。何歳になっても「ネーネー」の気持ちで、楽しんでいます。

2014年から活動を始め10年になりました。

## 「なんちゃってネーネーズ」

た。レパートリーは、皆さんが耳にして分かりやすい歌を選んでいきます。安里屋ユンタ、十九の春、花、涙そうそう、かごの鳥、童謡等、カチャーシーは皆で最後に踊ります。

介護施設、通いの場、老人会等、普段のお付き合いから声がかかればできる限り相談、皆さんと一緒に楽しんでいます。



## 「そよ風」編集委員



姉崎地区社会福祉協議会HPのQRコード



市原市の防災・災害 Web HPのQRコード

少子高齢化・核家族化等による地域の人口減少に伴い、以前は隣り近所お互い様と、声かけ合い助け合ってきたが、そういった関係が希薄になってきたように感じます。地域の中でどうお互いにかかわっていくか、難しいところです。

国は、令和7年から「地域包括ケアシステム」構築を推進するとしています。高齢者が住み慣れた地域で自分らしく人生を全うできるよう、医療福祉等あらゆる面で支援していくこととするものです。

その為には地域力の醸成が不可欠です。まずは、地域に関心を持って、声を掛け合うことから始めてみませんか。

（宇田川）

ミニドラマ

## 姉崎地区 (前年同期比)

世帯数 14,697 世帯(+181)  
人口 28,368 人 (-128)  
男 14,795 人 (-64)  
女 13,573 人 (-64)  
令和5年10月1日現在



## 発行

姉崎地区社会福祉協議会  
発行責任者 会長 黒川 実男  
編集者 広報部 会  
事務局 姉崎保健福祉センター内  
TEL 0436(62)8601



## 4年ぶりの福祉バザー

### 【アネッサ福祉祭りバザー】



## 地域みなさまに感謝

姉崎地区社会福祉協議会  
バザー実行委員長 川又 昇造

11月3日（文化の日）に「アネッサ福祉祭りバザー」を開催しました。収益金は367,688円となり、歳末助け合い募金として千葉県共同募金会に収めさせていただきました事をご報告いたします。

本バザーは、平成30年以来4年間のブランクを経ての開催でありました。バザーの規模を小さくし、お祭りのイベントを盛り込んだ新たな企画に取り組んでまいりました。また、アネッサ25周年記念行事との共催とし、子供服や中学生の制服リユースへつなげる企

画も行いました。

当日は、姉崎地区の住民のみなさまを中心に数多く（500人超）の参加があり、元気に遊ぶ子供達との交わり、文化祭的な作品の展示、各種サークル活動の紹介、物品販売、カレーなどの飲食コーナーで楽しんでいただきました。また、会場の床養生は行わず、参加者の皆さまには土足禁止のご協力をいただき、これにより、スタッフの労力は大幅に削減でき、新たなイベントに勢力を傾けることができました。

本バザーに対しまして、開催趣旨へのご理解、寄贈品のご提供、ご購入にご協力いただき、この場をお借りして深くお礼申し上げます。また、準備運営に携わっていただきました多くのみなさまには、ご多忙の中、ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

## 参加者の声

<母、娘と孫娘3世代>

子供服販売が良かった。昔と同じで人気品物が直ぐに売れていた。海苔販売の制限GOOD。

<30代夫婦と子供>

物価高で食料品中心に購入。初めての参加で、娘が子供の自由遊び、昔遊びに興味を持った。時間が短かった。

<60代後半の高齢者夫婦>

野菜類で姉崎大根を狙ったが売り切れ。次年度は野菜類を増やして欲しい。カレーが美味しかった。

<60代女性友達4人組常連さん>

両手に袋一杯の米、大根を購入、早目のお昼としてカレーを食べたが予想以上に肉・ジャガイモが美味しかった。

美味しい

的当て

## 肺崎地区社会福祉協議会の主な事業計画

### 肺崎地区社会福祉協議会の主な事業計画

| 開催予定                                             | 内容                           |
|--------------------------------------------------|------------------------------|
| <b>共生型サロン部会</b> （原則第4水曜 10：30～）                  |                              |
| R5年 12月27日                                       | <会場：アネッサ>                    |
| R6年 1月24日                                        | ◆利用者負担の無料化                   |
| 〃 2月28日                                          | ◆軽体操+α（音楽 演芸等）               |
| 〃 3月27日                                          |                              |
| <b>子育てサロン部会</b> （原則第3金曜 10：30～）                  |                              |
| R5年 12月15日                                       | <会場：肺崎公民館>                   |
| R6年 1月19日                                        | ◆乳幼児と保護者の自主事業                |
| 〃 2月16日                                          | クリスマス会 かんたん折り紙               |
| 〃 3月15日                                          | ベビーマッサージ ミニコンサート             |
| <b>子どもの居場所づくり部会</b> <会場：アネッサ><br>（原則第4土曜 10：00～） |                              |
| R5年 12月10日                                       | ◆あそびばアネッサ（下記に再掲）             |
| R6年 1月27日                                        | ◆げんき食堂アネッサを実施                |
| 〃 2月24日                                          | 食事の提供、学習支援                   |
| 〃 3月23日                                          |                              |
| <b>広報部会</b> （広報紙「そよ風」を年2回発行）                     |                              |
| R5年 12月5日                                        | ◆そよ風59号を発行<br>新たな情報発信手段の構築検討 |

### げんき食堂アネッサ、あそびばアネッサ 開催中

アネッサで“皆の居場所・世代間交流の場づくり”を目指し、ボランティアの皆様と参加者が協力開催し、早や3年目となりました。

本年度からは全住民参加の共生型となりました。



【げんき食堂】日常居場所の少ない高齢者と子供達の居場所として、毎月第4土曜に楽しく開催。最近、「昼食カレ

を皆で一緒に楽しく食べたい一人暮らし高齢者」、また、「ナイーブで引っ込み思案の就学前児童」の参加が見られます。

【あそびばアネッサ】今年は12月10日（日）開催です。

「多くの友達、元気なお年寄りと家族」とで運動、自由遊びを楽しみましょう。事前に案内チラシを配布します。ご来場をお待ちしております。



### ふれあいボックス

おしゃべりが苦手な方のための相談投書箱です。お悩み、困りごと、支援して欲しいことお気軽に。

【アネッサ一階公衆電話横】

【ふれあいサロン】

【上町中央公民館】

### おしゃべりカフェ

お茶でも飲みながら、お気軽にご相談に来てください。

毎月第1水曜  
10時～12時

【アネッサ 相談室2】



### 茶話会・会食会からニコニコサロンへ改名

本年度から茶話会と会食会を統合し、会場はアネッサにて開催するようになり、名称も参加者より21件応募いただいた中から「ニコニコサロン」と改称し、毎月第4水曜日の10時30分から1時間開催しております。

催し物は2部制とし、1部は指導員の佐久間さんによる頭と身体の体操を楽しく行い、2部は「地元演奏グループの演奏を聞きながら、皆で体育室の広い空間で合唱」と「福祉関係者による衛生健康講座」を交互に実施へ変更。その効果もあり、参加者も徐々に増えています。初めての方も友達を誘い、お気軽に参加ください。



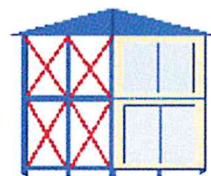
### アネッサインフォメーション

◆人事異動  
肺崎地区担当の交代です。

新たに着任しました  
塩野谷 夏基です。  
宜しくお願い致します。



◆体育室耐震化工事  
耐震化工事を予定しております。  
工期予定：  
令和6年1月～8月



### ご寄付 ありがとうございます

今年度も肺崎地区社会福祉協議会及び地区社協主催・共催事業に、多くの方からご寄付を賜りました。

◆げんき食堂アネッサへ

・匿名の個人様・団体様より  
お米、お肉、お野菜等を沢山頂きました。

◆肺崎地区社会福祉協議会へ

・上総吟游会様より寄付金を頂きました。



皆様からの温かいご声援、ご支援を今後とも宜しくお願い致します。

## 「肺崎チョコっとサービス」試行中

### 肺崎地区社会福祉協議会

本年度より「肺崎チョコっとサービス」（通称あねチョコ）の試行中です。日常生活で起こる「ちょっとした困り事」を皆でお互い様の気持ちで助け合う活動です。

あねチョコ支援を通じて「困り事相談支援」も行う会員制住民参加型在宅福祉サービス事業です。



【対象作業】

ゴミ出し、部屋掃除、電球交換、話し相手、書類記入、窓ガラス掃除、草むしりの7作業。

【作業体制】 二人作業、月1～2回

【利用料金】 1作業200円／30分間

\*作業内容・状況によっては、ご利用頂けない場合もあります。

【困り事発見から支援へのつなぎ】

①依頼先は地区・市福祉関係者へ

②依頼受者はあねチョコ支援受付へ

③受付後、コーディネーターによる事前調査、現場確認、判断

④作業実施はあねチョコ作業支援員、詳細は本人と相談し決定する。

【あねチョコ試行活動状況】

◆依頼作業実施中：4件

・ゴミ出し、部屋掃除、草むしり

◆作業が難しいと判断：2件

・草むしり：草に竹や樹木が混入のため

◆困りごと相談支援（\*）：4件

・肺崎地区の福祉活動（サークル、福祉施設、NPO法人）等の紹介。

\*困り事相談支援は、生活支援コーディネーターにて対応

【今後の活動】

現在は試行実施中です。

多種多様な困り事への対応を収集。

この期間で得た情報・経験をベースに最適な運用基準を作成し、本格実施を年度内にも行う予定です。

事前確認



作業中



作業完了



難しいと判断



## 肺崎小学校区小域福祉ネットワーク活動近況

爽やかな秋の「バス小旅行」  
肺小NW副会長 田丸 浩

肺小ネットワークでは、毎年和光苑さんのバスをお借りしての小旅行を実施。4年ぶりとなる今年、10月20日にラムサール条約登録地に認定された谷津干潟を訪れました。久しぶりの遠出に参加者16名の気持ちもはずみ、バス車内での楽しい会話もあったという間に谷津干潟公園に到着。

都会の真ん中を切り拓いたような、



住宅地の一角にある面積40haの広大な干潟はまさに都会のオアシス。よくぞこれだけの自然を残してくれたものと皆さん感激。

観察センターから望む周囲3.5kmの



大きな沼は、実は東京湾の一部であるとか。



干潟の説明を聞いた後はほとんどの方が一周

3.5kmの外周コースにチャレンジ。平均年齢82歳の一団がゆっくりと右に干潟を見ながら林に囲まれた快適な道を1時間半をかけて一周。全員が会話を楽しみながら、一人の落伍者もなく(?)完歩。



一人ではとても歩けない距離を、仲間がいたからこそ歩き切った達成感に感激でした。残念ながら肝心の野鳥類

はあまり見る事が出来なかったものの、自然を満喫した後は帰りでサービスエリアで買ったお土産もとても軽く感じられた爽やかな一日でした。皆さん、お疲れさまでした。

お気軽に**包括たいよう**です

管理者 中島 光孝



「市原市地域包括支援センターたいよう（以下包括たいよう）」です。

包括たいようは、青葉台・有秋・五井南地区を担当している総合相談機関です。

令和4年4月より「地区福祉総合相談センター」としても運営しており、相談者の属性、世代、内容に関わらず、幅広く相談をお受けする機関となりました。

相談ごとは時が経つほど、解決までに時間を要し、より複雑に絡み合ってしまう。一人で、ご家族のみで悩まずにどうぞ包括たいようにお話をお聞かせ下さい。

問合先 ☎ 0436 (63) 4016